

大東市体育施設 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】 市民体育館・龍間運動広場・テニスコート

【指定管理者名】 一般財団法人大阪スポーツみどり財団

【評価対象年度】 令和3年度

【施設所管課名】 産業・文化部 スポーツ振興課

業務内容について評価

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、時間短縮や休館措置等の利用制限を行う状況もある中、ウイズコロナに即した的確な対応を心掛け、利用者が安心して利用できるように適切な施設運営を展開されています。

また、外出を控える方が増加したことにより運動機会が減少し、子どもから高齢者まであらゆる年代の運動機能の低下が懸念される中、58に及ぶ各種健康増進事業を企画立案し、スポーツ教室や講座を開催されたことは、新しい生活様式に対応した安心安全な運動・スポーツの機会を市民に提供できたと言えます。これらのスポーツを楽しむことができる環境の創出や心身の健康保持増進活動といったアクティブな取り組みは、コロナ禍の厳しい情勢下においても、指定管理者の職責を全うし、その能力を十二分に発揮されています。

施設管理については、経年劣化がみられる施設や設備、備品に対し、緊急度を考慮して優先順位を選定するなど、適正な維持管理、長寿命化を図るうえで市と共通認識を持って対応することは当然ながら、放送設備の不具合により機器が使用できなくなった際にも、技術管理部門職員が代替の対応策を講じ、利用者サービスが低下しないように施設の円滑な利用に向けて、最大限に尽力されていた姿勢は高く評価できます。

利用者満足度について評価

利用者の評価については、施設運営の向上を目的に令和3年12月に実施した利用者アンケートの結果が示すとおり、施設全体の満足度が79%、スタッフの丁寧さ・親しみやすさ86%と高い数値を示しており、コメント記載欄に掲載の「管理がスポみどさんになってすぐよくなったと思う」という記述からも、利用者の施設やスタッフに対する満足感を率直に伝えるものであることから、多くの利用者が現指定管理者の管理運営に概ね満足していると判断します。

また、コロナ禍の早期収束の目途が立たない中、ウイズコロナとして利用者が安心安全かつ快適に利用できるような配慮や対策が随所に見られ、利用促進に向けて、本市が希求する施設の管理運営

スタイルを的確に具体化している点は高く評価できます。

収支状況について評価

昨年度に引き続き、年度当初からの緊急事態宣言の発令に伴う臨時休館や開館時間の短縮措置、パラリンピックの代表チームの事前合宿中止などのスポーツイベント・大会等の自粛や大阪府の感染者数の増減が施設の利用控えにも影響を受け、昨年度同様に非常に厳しい財政運営を強いられていた。そういった中、感染防止に万全な対策を講じ、安心安全に利用できることを周知していたことが自主事業への参加やトレーニング室の利用者増という成果に繋がり、昨年度より実施事業数が少ない中、自主事業収入が昨年度と同程度であり、実質収入増になられたことは高く評価できます。

支出においては、光熱水費や人件費の経費削減に努めつつ修繕や老朽化した物品の入れ替えを積極的に行うなど、市民サービスの向上を図りながら現状に見合ったマネジメントに取り組み、収支バランスの維持に尽力した健全な経営を実践していると言えます。

総合評価

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大が常態化する中、引き続き感染拡大防止対策を徹底し、コロナ禍でも利用者が安心してスポーツに取り組める施設であることを周知し、昨年度とほぼ同水準の利用率・利用者数を維持してきたことは、社会情勢の変化に対応しつつ利用促進に向けて3施設の安定した管理運営を実行してきたと高く評価できます。

また、コロナ禍でのトレーニング室利用者減少を防ぐために、新規入会キャンペーンの実施やのぼりを設置しPRに努め利用者増に繋がったことや施設の利用キャンセルが出た時には、他の競技団体へ情報提供し利用向上に努めるなどにより、稼働率をテニスコートで昨年度対比-2%、市民体育館でも-5%に抑え、龍間運動広場においては+8%の増となっており、厳しい情勢下でも建設的且つ柔軟に取り組まれたことで、その成果が顕著に表れていると思われます。

以上のことから、現指定管理者は、コロナによって起こった社会の変化に対応した上で、利用者ニーズを把握しつつ、創意工夫を図り、多彩な企画・提案力と柔軟な対応力、実行力を持ち合わせた優良な施設管理運営者であると言えます。